

素材生産動向（概要）

－ 令和2年5月見通し －

令和2年5月20日

北海道森林管理局

（担当：資源活用第一課）

調査対象事業体数

	事業体数 (A)	調査対象数 (B)	回答数 (C)	回答率 (C)/(B)	該当する（総合）振興局
全道	525	252	195	77%	
札幌地区	112	61	37	61%	石狩、空知、胆振、日高
旭川地区	112	64	51	80%	上川、留萌、宗谷
北見地区	83	39	32	82%	オホーツク
帯広地区	150	42	32	76%	十勝、釧路、根室
函館地区	68	46	43	93%	渡島、檜山、後志

（注）事業体数(A)は、北海道林業事業体登録制度に基づき登録された林業事業者のうち、素材生産事業を実施している者。調査対象数(B)は、アンケート調査の結果により実質的に素材生産事業を行っていない者等を除いた数。

【5月の素材生産動向（概要）に対するコメント】

・「1.素材生産量」では、4月実績の203.5千m³と比べ、5月見通しは28.8千m³減の174.7千m³となっています。
 地区別では、前月実績より旭川・北見・帯広・函館地区で減の見通しとなっています。
 ・「2.素材生産量の増減」の比率では「増える」が24%、「変わらない」が36%、「減る」が40%となっています。
 ・「3.素材生産動向」の全般的な動きでは、「順調」が9%、「並み」が50%、「不調」が41%となっており、並み～不調な見通しです。
 樹種別に見ると、全樹種において「不調」傾向の見通しとなっています。
 ・「4.素材生産動向の事由」は、「通常の変動」以外では、増の事由として、「体制の充実」「生産性の向上」が多くなっています。
 減の事由としては、「丸太注文の減少」「事業地不足」「労働力不足」「天候不順」の事由が多くなっています。

1. 素材生産量

（単位：千m³）

区分	全道			札幌地区			旭川地区			北見地区			帯広地区			函館地区		
	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差
素材生産量	[224.2] 203.5	174.7	-28.8	[38.0] 37.0	38.1	1.1	[45.3] 39.6	35.4	-4.2	[69.9] 58.8	50.2	-8.6	[28.3] 26.3	25.2	-1.1	[42.7] 41.8	25.8	-16.0

（注）前月数量の、上段【 】書きは前月見通し、下段は調査回答のあった事業者の実績を記載。

2. 素材生産量の増減

（単位：%）

区分	全道			札幌地区			旭川地区			北見地区			帯広地区			函館地区		
	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差
増える	28	24	-4	29	27	-2	22	24	2	40	44	4	20	28	8	28	5	-23
変わらない	33	36	3	38	49	11	35	30	-5	38	12	-26	20	41	21	32	49	17
減る	39	40	1	33	24	-9	43	47	4	22	44	22	60	31	-29	40	46	6

3. 素材生産動向

(1) 全般

(単位：%)

区分	全道			札幌地区			旭川地区			北見地区			帯広地区			函館地区		
	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差
極めて順調	1	2	1	0	0	0	3	5	2	0	0	0	0	0	0	3	4	1
やや順調	16	7	-9	18	13	-5	19	5	-14	13	3	-10	9	0	-9	19	15	-4
並み	60	50	-10	57	61	4	56	44	-12	55	58	3	67	55	-12	64	35	-29
やや不調	18	32	14	18	17	-1	22	36	14	22	36	14	24	25	1	7	38	31
極めて不調	5	9	4	7	9	2	0	10	10	10	3	-7	0	20	20	7	8	1

(注) 各区分に回答した事業者の構成比

(2) 樹材種

(単位：回答数)

区分	全道							札幌地区						旭川地区							
	カラマツ一般材	トドマツ一般材	その他N一般材	L一般材	カラマツ原料材	N原料材	L原料材	カラマツ一般材	トドマツ一般材	その他N一般材	L一般材	カラマツ原料材	N原料材	L原料材	カラマツ一般材	トドマツ一般材	その他N一般材	L一般材	カラマツ原料材	N原料材	L原料材
極めて順調	1	2	1	1	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0
やや順調	6	5	4	2	6	10	9	3	3	0	1	1	3	1	1	1	0	0	1	1	3
並み	40	30	14	35	52	57	45	6	5	0	5	9	11	9	6	0	10	14	15	13	
やや不調	30	30	7	12	12	17	14	2	3	2	2	0	0	9	12	0	3	2	8	5	
極めて不調	13	27	10	12	6	2	4	2	5	1	3	0	0	1	5	7	0	3	4	1	0

(単位：回答数)

区分	北見地区							帯広地区						函館地区							
	カラマツ一般材	トドマツ一般材	その他N一般材	L一般材	カラマツ原料材	N原料材	L原料材	カラマツ一般材	トドマツ一般材	その他N一般材	L一般材	カラマツ原料材	N原料材	L原料材	カラマツ一般材	トドマツ一般材	その他N一般材	L一般材	カラマツ原料材	N原料材	L原料材
極めて順調	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	1
やや順調	1	0	0	0	3	3	2	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4	1	1	2	2
並み	13	10	7	10	14	14	11	8	6	3	6	10	8	7	4	3	4	4	5	9	5
やや不調	9	6	3	3	3	4	3	6	2	1	1	5	1	2	4	7	1	3	2	4	4
極めて不調	2	7	5	3	1	0	1	3	3	2	2	1	1	1	1	5	2	1	0	0	1

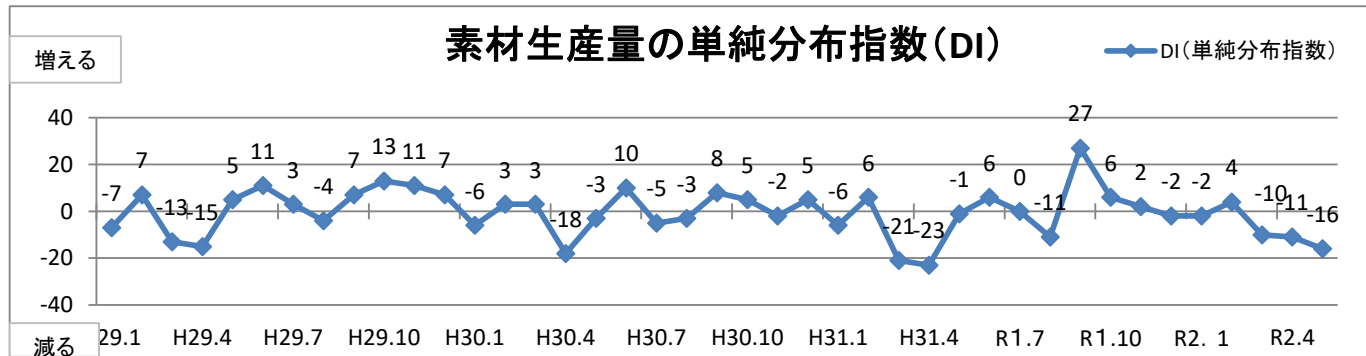
4. 素材生産動向の事由

(単位：回答数)

	丸太注文の増加	時間外など稼働率向上	体制充実	生産性の向上	通常の変動	その他		
数量の増	2	1	5	6	30	1		
	丸太注文の減少	事業地不足	労働力不足	運材車不足	機械の故障等不測の事態	天候不順	通常の変動	その他
数量の減	53	11	7	1	2	6	20	20

(注) 該当するものについて複数回答

(参考)



令和2年5月

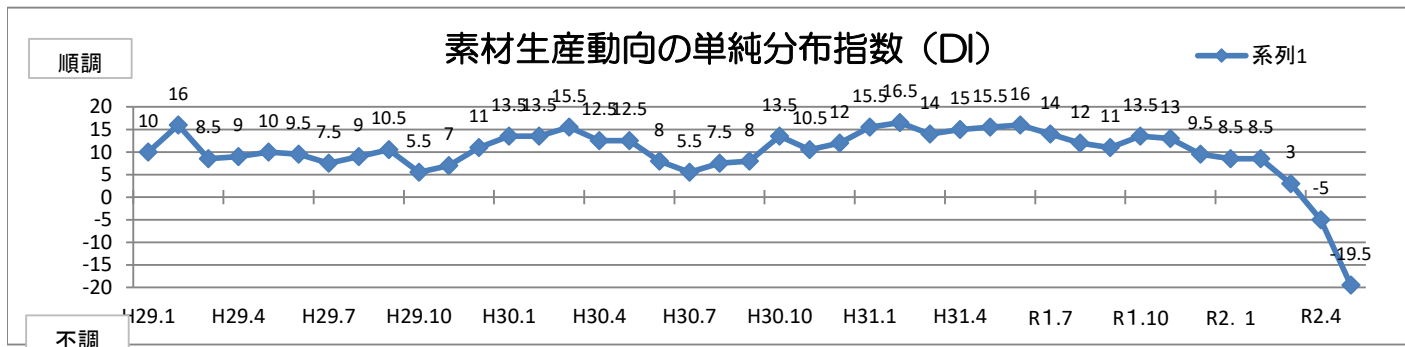
区分	有効回答数	構成百分率
増える	47	24%
変わらない	71	36%
減る	77	40%
合計	195	100%

素材生産量の単純分布指数(DI)
 $= (24\%) - (40\%)$

有効回答数とは、前月との比較が可能な事業体数

※「素材生産量の単純分布指数(DI)」とは

アンケート調査の回答においてプラス(増える)見通しとマイナス(減る)見通しの事業体のバランスの変化を捉えるためのものです。



令和2年5月

区分	有効回答数	構成百分率
極めて順調	3	2%
やや順調	10	7%
並み	69	50%
やや不調	44	32%
極めて不調	13	9%
合計	139	100%

素材生産動向の単純分布指数(DI)
 $= \{ ((2\% \times 2) + 7\%) - (32\% + 9\% \times 2) \} \div 2$

※「素材生産動向の単純分布指数(DI)」とは

アンケート調査の回答においてプラス(極めて順調、やや順調)の選択肢とマイナス(やや不調、極めて不調)の選択肢を選んだ事業体のバランスの変化を捉えるためのものです。

【国有林からのお知らせ】

令和2年度 立木・素材の年間販売予定量

月別販売予定量

(単位：千m³)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
立木	-	-	71.3	183.3	141.5	117.8	209.1	130.8	25.8	16.7	0.1	0.5	896.9
素材	4.2	19.1	51.9	81.2	87.0	92.4	93.6	87.4	77.2	60.8	35.4	4.8	695.0

森林管理(支)署別販売予定量

森林管理(支)署名	立木	素材	森林管理(支)署名	立木	素材
石狩森林管理署	43.6	44.0	網走西部森林管理署	45.0	47.0
空知森林管理署	42.2	44.0	網走西部森林管理署西紋別支署	35.8	28.0
胆振東部森林管理署	35.7	21.0	網走中部森林管理署	93.1	42.0
日高北部森林管理署	8.1	24.5	網走南部森林管理署	75.5	47.0
日高南部森林管理署	30.6	22.5	根釧西部森林管理署	79.9	67.8
空知森林管理署北空知支署	-	5.4	根釧東部森林管理署	35.8	28.0
留萌北部森林管理署	7.6	10.0	十勝東部森林管理署	67.3	68.5
留萌南部森林管理署	13.0	10.8	十勝西部森林管理署	10.3	19.0
上川北部森林管理署	29.2	23.0	十勝西部森林管理署東大雪支署	35.0	21.0
宗谷森林管理署	22.9	25.0	後志森林管理署	7.4	20.0
上川中部森林管理署	22.5	20.0	檜山森林管理署	67.7	17.0
上川南部森林管理署	21.8	22.5	渡島森林管理署	66.9	17.0
※立木については、事業支障木等を除いた予定量			計	896.9	695.0

※公売公告及び結果等は、北海道森林管理局ホームページ「国有林野産物の公売公告及び結果(立木の部・素材の部)」をご覧ください。

アドレス：http://www.rinva.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/koubai/wood_rvuuboku/index2020.h (立木の部)

アドレス：http://www.rinva.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/koubai/wood_sozai/2020.htn (素材の部)